

令和 3 年 6 月 19 日現在

機関番号：72622

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2015～2019

課題番号：15H03253

研究課題名（和文）戦前・戦中期における華中・華南調査と日本の中国認識

研究課題名（英文）Research activities in central and south China by Japan before WWII

研究代表者

本庄 比佐子 (Honjo, Hisako)

公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員

研究者番号：50106639

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,300,000円

研究成果の概要（和文）：戦前・戦中期に台湾総督府、台湾銀行、満鉄調査部をはじめとする日本の統治機構、企業、研究調査機構などが行った華中・華南調査に関する分析をまとめるとともに、当時、日本人が中国社会をいかに把握していたか、さらにそのような認識が今日の対中観にいかなる影響を与えているか、という問題にまで考察を深めることができた。その成果は、シンポジウム「戦前日本の華中・華南調査」と論文集『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫、2021年）によって公表され、当該分野の学術研究の発展に資するものとなっている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来組織的に研究されてこなかった戦前・戦中期の日本の調査機関等による華中・華南地域に関する調査研究を組織的総合的に分析し、華中・華南地域に関する資料の所在状況も含め、「戦前・戦中期華中・華南地域における実態調査」の全体像を明らかにした。そうした資料を、同時期の中国側資料や近年の中国側の研究成果を参照するならば、華中・華南地域の政治・経済・社会文化が20世紀前半期に大きく変貌していく過程を明らかにすることができる。華中・華南地域は、長い歴史的伝統を有する一方で、早くから急速な近代化の波も受けてきた注目すべき地域である。

研究成果の概要（英文）：This project analyzed numerous research activities that various Japanese organizations, including the government of colonial Taiwan, the Bank of Taiwan, and the South Manchuria Railway, conducted in central and south China before World War II. In addition, our study clarified the influence of typical Japanese ways of recognizing Chinese society at that time. The product of this project was published through a symposium and a book named Research Activities in Central and South China by Japan before World War II.

研究分野：中国近現代経済史

キーワード：中国経済 日本の中国実態調査 華中 華南

1. 研究開始当初の背景

日本の中国調査は、早くも明治初年に参謀本部による兵要地誌調査や勸業寮による物産調査が行われているが、組織的な調査としては、台湾総督府が植民地統治のために行った旧慣調査に始まる。そのような調査の重要性に対する認識は、満鉄に引き継がれ、東北部(旧満洲)から華北・華中へと調査地域が拡大し、1930年代以降は、総合的な調査が本格化していく。

この間に、第一次大戦に参戦して青島を占領し、旧ドイツ租借地統治のために配備された青島守備軍が、青島及び山東を中心に、河南・山西の一部を含む地域で、日本の経済進出と山東鉄道延長を狙いつつ、各種の調査を実施した。日中戦争期には、満鉄の他、占領地統治のために新たに設立された興亜院や調査機関としての東亜研究所、華北総合調査研究所などによって、数多くの調査が行われた。これら膨大な調査報告書、資料は十分に整理されることもなく、日本と中国そしてアメリカに散在していた。戦後、これら戦前・戦中期の調査資料を「準学術的」な歴史資料として活用しようとする動きもあったが、資料の多くが植民地・占領地統治において要請された調査であったため、学界の中では片隅に置かれていた。

しかし、1970年代後半の中国における「改革開放」政策の実施の中で、日本でも戦後の中国研究のあり方が問われるに至り、戦前・戦中期の調査資料を、調査の背景を踏まえて活用しようとする動きが出てきた。さらにかつての調査地の再調査も可能となり、旧調査資料を活用した中国研究が進展している。

われわれは、こうした研究状況の下で、1989年以来、華北・華中・華南の中国本部を対象とした戦前期中国実態調査資料についての共同研究を実施してきた。そして従来ほとんど研究成果のなかった興亜院及び青島守備軍の行った調査について、『興亜院と戦時中国調査 付：刊行物所在目録』(岩波書店、2002年)、『日本の青島占領と山東の社会経済 1914-22年』(東洋文庫、2006年)の論文集を刊行し、我々が集積したデータのうち、華北地域に関する資料に関して『戦前期華北実態調査の目録と解題』(東洋文庫、2009年)を、さらに戦前・戦中期の調査研究から見る華北地域の特質に関して、『華北の発見』(汲古書院、2013年)を出版した。

しかし、華中・華南地域を対象とする戦前日本の調査研究に関しては、従来、われわれ自身の研究活動も含め、十分に検討されてきたとはいいがたい状況にあった。

2. 研究の目的

従来組織的に研究されてこなかった戦前・戦中期の日本の調査機関等による華中・華南地域に関する調査研究を組織的総合的に分析し、華中・華南地域に関する資料の所在状況も含め、「戦前・戦中期華中・華南地域における実態調査」の全体像を明らかにすることである。

戦前・戦中期の中国において、日本の様々な研究調査機関が実施した調査活動資料は、戦後に至ると個別分散的にしか分析されてこなかった。本研究では、戦前・戦中期の中国での調査活動報告等を整理するとともに、その調査内容の実態を究明し、同時期の中国側資料や、近年の中国での研究成果などを比較検討し、当該時期における中国全体の政治・経済・社会文化、ならびに日中関係の特質を、歴史的総合的に考察する。特に研究対象地域としては、従来の研究では十分に検討されてこなかった華中・華南地域を中心に日本の調査研究の全体像を明らかにする。

そのため、第一に、我々自身がこれまで行ってきた華北地域に関する調査資料の整理作業からの成果を基礎に、戦前・戦中期に日本の様々な研究調査機関が実施した中国華中・華南地域の調査活動の全体像を明らかにする。すでに東洋文庫近代中国研究班(以前の近代中国研究委員会)は、20年近くの歳月を費やし、日本国内はもとより中国各地の図書館及び関係機関に足を運び、興亜院による戦時中国調査、青島守備軍による青島・山東調査の実態解明に努め、さらに当該期の日本で作られた華北像の実態を明らかにしてきた。それらの成果を基礎として、満鉄調査部、東亜研究所、台湾総督府、及びその他の調査機関などによる調査を含めれば、日本による華中・華南調査の全体像を明らかにすることができる。

第二に、戦前・戦中期の日本側資料を活用するとともに、同時期の中国側資料、特に近年の中国側の研究成果を参照しながら、いわゆる当該期の「南洋」まで視野に入れながら、華中・華南地域の政治・経済・社会文化が20世紀前半期に大きく変貌していく過程を明らかにすることができる。華中・華南地域は、長い歴史的伝統を有する一方で、アヘン戦争以後の欧米列強の経済進出や、日本の軍事的侵攻などの影響を受けて、急速な近代化の波を受けてきた。いわば伝統と近代という一見相対する二つの要素が対立と共存を繰り返すという複雑な事例として、中国史研究者の注目を集めている特徴ある地域でもある。

第三に、既に華北地域研究の段階で進めてきた中国の研究機関及び研究者との共同研究を発展させることである。既にわれわれは、1999年度からの3年間、日中友好会館の日中平和友好交流計画歴史研究支援事業による研究助成を受けて興亜院に関する研究を行ない、2000年11月に中国社会科学院や上海市档案馆から研究者を招いてシンポジウムを開催した。同じように、2003年度からの4年間、科研基盤研究(B)「第一次大戦期日本の山東経営をめぐる総合的研究」に取り組んだ際にも、青島市社会科学院、山東社会科学院など中国側研究機関と共同でシンポジウムを開催した。さらに2009年度からの5年間、科研基盤研究(B)「1910年～30年代における日本の中国認識 華北地域を中心に」の中で、天津市社会科学院や南開大学歴史学院のスタッフとともに、シンポジウム「華北の発見」を開催した。そうした蓄積を基礎に、中国近現代史に関する日中両国の共同研究を発展させることも、今回の研究計画の大きな目的の一つでもある。

3. 研究の方法

戦前・戦中期の日本側調査機関が実施した中国での実態調査資料は、膨大な数に及ぶ。本研究は、この十年余実施してきた華北地域に関する実態調査資料研究の方法を踏襲しながら進める。つまり、日本および中国、及び欧米諸国に現存する日本の中国占領に関する資料の収集・分析を、華中・華南地域を中心に、中国側研究機関との共同研究により推進する。さらに従来の華北地域研究の成果を踏まえて、中国全土を視野に入れた、日本帝国主義の「大陸経営」に関する理論的研究に関する分析を進める。資料の収集と分析に関しては、以下のような役割分担をする。

政治的分野：本庄比佐子(統括)、松重充浩、田中比呂志、山本真

経済的分野：久保亨、金丸裕一、富澤芳亜、吉澤誠一郎

社会的分野：内山雅生、弁納才一、吉田建一郎

文化的分野：瀧下彩子、浅田進史、佐藤仁史

4. 研究成果

戦前・戦中期に台湾総督府、台湾銀行、満鉄調査部をはじめとする日本の統治機構、企業、研究調査機構などが行った華中・華南調査に関する分析をまとめるとともに、当時、日本人が中国社会をいかに把握していたか、さらにそのような認識が今日の対中観にいかなる影響を与えているか、という問題にまで考察を深めることができた。その成果は、シンポジウム「戦前日本の華中・華南調査」と論文集『戦前日本の華中・華南調査』(東洋文庫、2021年)によって公表され、当該分野の学術研究の発展に資すものとなっている。

早くから華南地域に注目し、1910年代以降、本格的に調査活動を展開したのは台湾総督府や台湾銀行であった。また上海を拠点に中国ビジネスや日中関係に関わる人材を養成した東亜同文書院、同じく上海にあって日系企業が自ら組織した日本人実業協会(上海日本商業会議所の前身)も、華中南地域に関する情報をまとめ、提供していた。しかし1920年代半ばから30年代半ば頃まで、台湾総督府や台湾銀行による華中南調査は減退する。その後、1930年代半ば以降、当初は中国経済の活況に刺激されて、さらに1938年以降は日本軍の占領地統治に協力し、そこから新たな利益を得ようとする目的の下、満鉄や興亜院による大規模な華中南調査が展開されるようになり、台湾銀行の調査活動も再び積極化した。1930年代末から40年代初めにかけての台湾銀行による華中南調査は、日本軍の占領地統治のための具体的な方策を探った点において、満鉄や興亜院の調査と基本的に一致するものであった。

論文集『戦前日本の華中・華南調査』には以下の研究成果が収録されている。

「戦時期の華南調査について 福建・広東を中心に」(山本 真)

日本統治下の台湾に設置された諸機関に注目し、とくに戦時の華南調査の傾向や特色を抽出した。考察対象は台湾総督府外事部、南洋協会台湾支部、台湾拓殖と福大公司、南支調査会などの調査活動である。なお南支調査会は、陸軍の台湾軍や広州を占領した陸軍第21軍(南支方面軍)と深い関係をもった団体である。

「台湾銀行の華南調査」(久保 亨)

台銀の華南調査の特徴を分析した。調査が最初に活発化した1910年代前半は、中華民国が成立する一方、第一次世界大戦が始まる時期であり、台銀は華中南地域や東南アジアへの営業拡大をめざし、柳生頭取の指揮下、盛んに調査活動を進めた。それに対し1930年代末から40年代初めにかけては、日本軍占領地の金融業務に関わる調査活動が進められた。

「台湾総督府『南支那及南洋情報』に見える華南農村情報」(弁納 才一)

台湾総督府が刊行していた『南支那及南洋情報』とその後継誌『南支南洋』に見える華南農村に関する記事について検討した。記事のほとんどは、英語・中国語の雑誌論文や新聞記事の邦訳であり、多くの「台湾人」が翻訳を担当した。その反面、華南農村に関する独自の調査報告類は見られない。

「華中棉産改進黨(1939-45年)とその棉産調査」(富澤 芳亜)

1939年から1945年の日本の敗戦まで華中の日本占領地での棉花の改良・増産事業にあたった華中棉産改進黨は、長繊維のアメリカ原産の棉花や改良綿花の増産をめざして行われていた開戦以前の棉産改良事業を調査し、それを継承・拡大しようとした。日本の敗戦後、その事業は国民政府農林部華中棉産改進黨により接収されている。

「日本の華南教育調査」(高田 幸男)

数少ない1930年代中国の教育に関する日本側の調査・視察記録から、台湾総督府文教局編『南支南洋ノ教育施設』(1935年)と東亜高等予備学校関係者(1930年、31年、35年)による視察記録を取り上げ、分析した。台湾総督府は、台湾の対岸である福建・広東で活動する台湾人への教育に関与し、さらに教育対象を同地の「中華民国人」へと広げていた。

「戦間期ドイツの中国市場調査 華中・華南を中心に」(浅田 進史)

第一次世界大戦での敗北後、在華権益を喪失し、新しい立場で中国市場にふたたび参入することになったドイツは、中国市場への輸出拡大に期待を寄せ、中国各地に点在した領事館を通じて市場調査を行った。華中・華南で自国工業製品の輸出市場として、ドイツがこの地域をどのように観察し、日本がどう見られていたかを検討した。

「『支那時報』とその華中・華南関係記事 「満洲事変」までの期間を中心として」(田中比呂志)

『支那時報』は1924年から42年まで日本人の中国理解を促すために発行された中国情報専門誌である。創刊者の水野梅暁、並びに長きにわたって発行・編集人・副社長の任に

あった宇治田直義は、東亜同文書院卒業生の支援を受けながら、激動きわまりない中国情勢に注視しつつその分析に努め、中国人の寄稿者の文章も掲載していた。

「大連日本人社会における「華中・華南」情報 総合雑誌『満蒙』を事例として」(松重 充浩)

戦前期大連の現地刊行日本語月刊誌として最多出版部数となっていた『満蒙』に掲載された「華中・華南」関係記事を事例に、中国東北地域在住日本人社会における「華中・華南」地域認識を検討した。記事には満鉄調査の転載が多数含まれ、『満蒙』の社会的信用度を高めると共に、大衆化社会に照応した専門知識の社会還元がめざされていた。

「戦間期華中の茶貿易に関する日本の認識」(吉田 建一郎)

戦間期の華中の茶の貿易に関し、同時期の日本側の認識を分析した。取りあげたのは外務省の『海外経済事情』、茶業組合中央会議所や静岡県茶業組合連合会議所の調査報告類、そして満鉄の資料である。日本は、華中の茶貿易の衰退をみていただけではなく、華中産の中国緑茶が世界市場で強い存在感を持つことにも注意を払っていた。

「戦前日本の観光業と華中・華南 華中鉄道の旅客業務を中心に」(瀧下 彩子)

日中戦争期に華中で日本が進めた観光業を考察した。京滬・滬杭甬鉄道占領後に日本が設立した華中鉄道会社は、運輸収入の回復をめざし、直営ホテル経営、旅行案内やグラビア誌の刊行などを通じて「支那」情緒と快適な旅行環境を提示し、旅客誘致に向け積極的に活動する。しかし事業拡大計画は戦局の悪化によって途絶した。

「日本語ガイドブックに見る華北・華中・華南」(吉澤 誠一郎)

華北・華中・華南の主要都市を紹介する日本語ガイドブックについて分析した。都市の実態を把握するにあたって、こうしたガイドブック類は、他の史料に比べて信用性に劣るとはいえ、日本人が抱くステレオタイプなどを通じて、日本人の「中国体験」を典型的に知るといふ目的にとっては有用であることが指摘される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計98件（うち査読付論文 23件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 7件）

1. 著者名 久保亨	4. 巻 43
2. 論文標題 長江産業貿易開発協会の刊行資料目録	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 1 - 21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 842
2. 論文標題 清末民初における国家・個人・地域 - - 国家建設と地域社会・個人	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 57 - 69
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 78 - 1
2. 論文標題 福建省興化地域社会と結社、キリスト教、阿片 - - 民國初期の黄濂の亂に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 105 - 146
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 71 - 2
2. 論文標題 1930年前後の日ソ茶貿易	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪経大論集	6. 最初と最後の頁 57 - 75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅田進史	4. 巻 728
2. 論文標題 植民地責任論からみた1919年 民族自決と戦争責任	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 49 - 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 -
2. 論文標題 中国の繊維産業 技術者養成からの視点	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 堀 和生・萩原 充共編 『“世界の工場”への道 20世紀東アジアの経済発展』(京都大学学術出版会)	6. 最初と最後の頁 199 - 223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 近代日本の中国城市指南及其印象 以北京、天津為例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 巫仁恕主編 『城市指南与近代 中国城市研究』(開源書局)	6. 最初と最後の頁 319 - 353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 真	4. 巻 -
2. 論文標題 戦時期の華南調査について 福建・広東を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編 『戦前日本の華中・華南調査』(東洋文庫)	6. 最初と最後の頁 37 - 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 -
2. 論文標題 台湾銀行の華南調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 63 - 95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納 オー	4. 巻 -
2. 論文標題 台湾総督府『南支那及南洋情報』に見える華南農村情報	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 97 - 118
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 -
2. 論文標題 華中棉産改進会（1939-45年）とその棉産調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 119 - 150
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 -
2. 論文標題 日本の華南教育調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 151 - 178
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅田 進史	4. 巻 -
2. 論文標題 戦間期ドイツの中国市場調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 179 - 203
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 比呂志	4. 巻 -
2. 論文標題 『支那時報』とその華中・華南関係記事	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 207 - 227
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松重 充浩	4. 巻 -
2. 論文標題 大連日本人社会における「華中・華南」情報	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 229 - 246
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 建一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 戦間期華中の茶貿易に関する日本の認識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 247 - 269
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧下 彩子	4. 巻 -
2. 論文標題 戦前日本の観光業と華中・華南	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 271 - 299
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤 誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 日本語ガイドブックに見る華北・華中・華南	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 久保亨、瀧下彩子編『戦前日本の華中・華南調査』（東洋文庫）	6. 最初と最後の頁 301 - 319
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「経済学者の社会主義憲政論--1957年の意見書草稿をめぐって」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中村元哉編『憲政から見た現代中国』	6. 最初と最後の頁 223-244
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「近代中国経済の変容と1930年代」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 波多野澄雄・中村元哉編『日中戦争はなぜ起きたのか 近代化をめぐる共鳴と衝突』	6. 最初と最後の頁 140-160
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 Changing Patterns of Industrialization and Emerging States in Twentieth Century Chia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Kenjiro Otsuka and Kaoru Sugihara eds., "Paths to the Emerging State in Asia and Africa"	6. 最初と最後の頁 141-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-3131-2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅田進史	4. 巻 -
2. 論文標題 「コラム 植民地責任論」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本植民地研究会編 『日本植民地研究の論点』	6. 最初と最後の頁 252-255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 -
2. 論文標題 「村の権力と宗教 - 山西省平遥県道備村の事例」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編著 『中国農村社会の歴史的展開 - 社会変動と新たなる凝集力』	6. 最初と最後の頁 147-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 70
2. 論文標題 「彼は如何にして正されたのか? - 四清運動期のある農村幹部の取り締まりと信仰歴」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東京学芸大学紀要 (人文社会科学系)』	6. 最初と最後の頁 93-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 826
2. 論文標題 書評「宮古文尋著『清末政治史の再構成』」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『歴史評論』	6. 最初と最後の頁 99-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 166
2. 論文標題 「中国教育界と第一次世界大戦 大戦認識とその影響をめぐる」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『駿台史学』	6. 最初と最後の頁 25-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 23
2. 論文標題 「中華留日基督教青年会について 同会『会務報告』を中心に」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『明大アジア史論集』	6. 最初と最後の頁 310-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 73-2
2. 論文標題 「張柔武氏が語る自分史: 音楽教師として、そして祖父張馨・日本との関わりなど」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 41
2. 論文標題 王清穆研究会編註「王清穆『農隱廬日記』(8)」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『近代中国研究彙報』	6. 最初と最後の頁 47-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧下彩子	4. 巻 72-5
2. 論文標題 書評「武田雅哉著 平凡社刊『中国のマンガ<連環画>の世界』」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 42-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 41
2. 論文標題 桑原哲也、今井就稔共著「鐘紡の対中国進出責任者の回想 井上潔氏(鐘紡)インタビュー」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『近代中国研究彙報』	6. 最初と最後の頁 1-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 52
2. 論文標題 福田景道、百留康晴、榎原茂、川瀬雅也、諸岡了介、縄田裕幸、竹田健二、福田哲之、長谷川博史、高塚寛共著「文系教科における教科内容構成研究の現状と課題」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『島根大学教育学部紀要』	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 84-2
2. 論文標題 書評「張曉紅著『近代中国東北地域の綿業 - 奉天市の中国人綿織物業を中心として - 』」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『社会経済史学』	6. 最初と最後の頁 111-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 -
2. 論文標題 「農村経済の発展と脱農化・零細農化の進行」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史的展開 - 社会の変動と新たな凝集力』	6. 最初と最後の頁 3-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 18
2. 論文標題 「華中農村訪問調査報告(1) - 2016年10月・2017年6月、湖南省の農村」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 霞山会『中国研究論叢』	6. 最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39-1
2. 論文標題 「華東農村訪問調査報告(12) - 2017年5月、2018年3月・5月、台湾・上海市・江蘇省」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『金沢大学経済論集』	6. 最初と最後の頁 95-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 50
2. 論文標題 「日中戦争時期における山東省3ヶ村の経済発展に関する分析」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本海域研究』	6. 最初と最後の頁 7-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 50
2. 論文標題 「華北農村訪問調査報告(13) - 2017年9月、山西省」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本海域研究』	6. 最初と最後の頁 45-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39-2
2. 論文標題 「華北農村訪問調査報告(14) - 2018年9月、天津市・山西省」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『金沢大学経済論集』	6. 最初と最後の頁 201-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39-2
2. 論文標題 「東北農村訪問調査報告(1) - 2018年8月、吉林省・遼寧省 - 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『金沢大学経済論集』	6. 最初と最後の頁 221-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松重充浩	4. 巻 500
2. 論文標題 「日本大学文理学部における「満蒙」関係諸記録の収集と保存および公開の試み」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『善隣』	6. 最初と最後の頁 10-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 614
2. 論文標題 「歴史から見る中国の国家・社会関係、集権と分権」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『東亜』	6. 最初と最後の頁 90-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 7
2. 論文標題 「中国近現代社会史研究の現状と課題」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『研究中国』	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 72-11
2. 論文標題 胡艶紅共著「台湾海峡、馬祖列島の近現代史と島民の生活誌 日中戦争時期から冷戦時期までを中心に」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 15-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 -
2. 論文標題 「地域防衛と結衆の原理」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史的展開』	6. 最初と最後の頁 229-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「近代世界のなかの日本と清朝」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 波多野澄雄・中村元哉編『日中戦争はなぜ起きたのか 近代化をめぐる共鳴と衝突』	6. 最初と最後の頁 46-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「危機のなかの清朝」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小松久男編『歴史の転換期[9] 1861年 改革と試練の時代』	6. 最初と最後の頁 26-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 978
2. 論文標題 「20世紀中国における人口論の展開」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『歴史学研究』	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 891
2. 論文標題 「五四運動とその残影」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『歴史地理教育』	6. 最初と最後の頁 10-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「華北の寒羊・寿陽羊と日本」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編著『中国農村社会の歴史的展開 社会変動と新たな凝集力』	6. 最初と最後の頁 23-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山雅生	4. 巻 第2号
2. 論文標題 「中国内陸農村訪問調査報告(8)」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『長崎県立大学国際社会学部研究紀要』	6. 最初と最後の頁 79-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 807
2. 論文標題 「日中戦争史研究の現在と日中関係」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『歴史評論』	6. 最初と最後の頁 6-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「近代中国における機械工業の発展：1860 - 90年代の上海造船業を中心に」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 秋田茂編著『「大分岐」を越えて アジアからみた19世紀論再考』（ミネルヴァ書房）	6. 最初と最後の頁 81-108
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 3
2. 論文標題 「人文・社会科学の危機と歴史学」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究会編『第4次 現代歴史学の成果と課題』3 歴史実践の現在（績文堂出版）	6. 最初と最後の頁 17-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅田進史	4. 巻 第236号
2. 論文標題 「開戦100周年における第一次世界大戦研究を振り返る：植民地戦争・世界戦争・『帝国の戦争』の視点から」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『歴史と経済』	6. 最初と最後の頁 34-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 69
2. 論文標題 「華北農村訪問調査（7）付雲南農村調査：2015年9月河北省S県G鎮W村、山西省L県N鎮G村、2016年9月雲南省C自治州Z鎮D村、河北省R県W鎮W村、山西省L県J鎮Z村、L県N鎮G村」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『東京学芸大学紀要（人文社会科学）』	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 2017年第6期
2. 論文標題 「明治大学接收東亜留学生的開端与培養特点」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『遼寧師範大学学报（社会科学版）』	6. 最初と最後の頁 25-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 第966号（第837号）
2. 論文標題 「書評 戸部健『近代天津の「社会教育」 教育と宣伝のあいだ』」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『歴史学研究』	6. 最初と最後の頁 47-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田幸男	4. 巻 第71巻第11号
2. 論文標題 「書評 大里浩秋・孫安石編著 御茶の水書房『近現代中国人日本留学生の諸相 「管理」と「交流」を中心に』」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 47-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧下彩子	4. 巻 62号
2. 論文標題 「抗日漫画に見る「加害」の表象」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『中帰連：戦争の真実を語り継ぐ』	6. 最初と最後の頁 34-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧下彩子	4. 巻 第7号
2. 論文標題 「人ならざるモノへの視線 - 華君武の人民諷刺漫画」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『連環画研究』	6. 最初と最後の頁 33-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 第40号
2. 論文標題 「在華紡勤務27年の回顧(その2) : 三好静一郎氏(豊田紡織廠)インタビュー - 」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『近代中国研究彙報』	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第296号
2. 論文標題 「南京国民政府時期中国における合作社と農村社会の特質 - 江蘇省丹陽県・無錫県を例として」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『史学研究』	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第49号
2. 論文標題 「日中全面戦争勃発前後における山東省農村経済の変動 : 惠民県孫家廟荘を例として」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『日本海域研究』	6. 最初と最後の頁 49-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第49号
2. 論文標題 「華北農村訪問調査報告(12) - 2016年9月、雲南省・河北省・山西省」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『日本海域研究』	6. 最初と最後の頁 89-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松重充浩	4. 巻 -
2. 論文標題 「『近代中国都市案内集成 大連編』に記録された中国人」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 松重充浩・木之内誠・孫安石監修『近代中国都市案内集成 第43巻』	6. 最初と最後の頁 3-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松重充浩	4. 巻 -
2. 論文標題 「大連日本人社会における中国認識：総合雑誌『満蒙』を事例として」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 松重充浩、田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題 思索と対話のための政治史論』(法律文化社)	6. 最初と最後の頁 106-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 -
2. 論文標題 「1940年代四川省的地方民意機関と秘密結社」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 四川大学歴史文化学院編『第一届中国社会史論壇会議論文集』	6. 最初と最後の頁 15-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 -
2. 論文標題 「通過基督教伝教師文書解読 20世紀初めのピン西社会と革命運動」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 廈門大学馬克思主義学院編『馬克思主義在中国的伝播与实践學術検討会論文集』	6. 最初と最後の頁 162-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 -
2. 論文標題 「キリスト教の革新運動と教会の政治化」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 笹川裕史編『戦時秩序に巣喰う声 - 日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会』(創土社)	6. 最初と最後の頁 307-342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 -
2. 論文標題 「東マレーシアへの福州人キリスト教徒入植者」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 華僑華人の事典編集委員会『華僑華人の事典』(丸善書店)	6. 最初と最後の頁 302-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「白鳥庫吉の東洋史学：史学史的考察として」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 渡邊義浩編『中国史学の方法論』(汲古書院)	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 76巻1号
2. 論文標題 「中華民國初期における大總統就任式典」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『東洋史研究』	6. 最初と最後の頁 79-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「義和団をめぐる記憶と中国ナショナリズムの位相」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 川田順造編『ナショナル・アイデンティティを問い直す』(山川出版社)	6. 最初と最後の頁 184-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉澤誠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「民国初年の対日ボイコットにおける東南アジア華僑と孫文」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本孫文研究会編『孫文とアジア太平洋－ネイションを越えて』(汲古書院)	6. 最初と最後の頁 235-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「戦間期日ソ茶貿易史研究の深化にむけて」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『東アジアの視野からとらえた日本の茶と茶文化に関する学際的研究(アジア研究・別冊7)平成27～29年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書』	6. 最初と最後の頁 19-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 -
2. 論文標題 蘇俄在戦時中国：重慶国民政府經濟專家眼中的蘇連經濟	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 黄自進編『国共関係と中日戦争』稻郷出版社	6. 最初と最後の頁 89-109
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 68集
2. 論文標題 村の歴史と個 - - ある無名の農民の半生(2)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要（人文社会科学）	6. 最初と最後の頁 23-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 瀧下彩子	4. 巻 -
2. 論文標題 「支那」観光イメージの希求と発信	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 貴志俊彦，白山真理編『京都大学人文科学研究所蔵華北交通写真資料集成．論考編』国書刊行会	6. 最初と最後の頁 195-214
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 20号
2. 論文標題 近代中国における工業教育と紡織技術者の養成	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 経済史研究	6. 最初と最後の頁 47-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜、桑原哲也	4. 巻 39号
2. 論文標題 同興紡織上海商務課長の回顧(下) - 調虎雄氏(同興紡織)インタビュー -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 23-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜	4. 巻 -
2. 論文標題 占領地の鉱業と華北交通	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 貴志俊彦, 白山真理編『京都大学人文科学研究所蔵華北交通写真資料集成. 論考編』国書刊行会	6. 最初と最後の頁 87-105
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39号
2. 論文標題 消え行く華東地域の農村 - 江蘇省無錫県の2ヶ村を例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松重充浩	4. 巻 -
2. 論文標題 大連日本人社会における中国認識: 総合雑誌『満蒙』を事例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題』法律文化社	6. 最初と最後の頁 106-122
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 20世紀中葉の中国東北地域における豚の品種改良について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 村上衛編『近現代中国における社会経済制度の再編』京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター	6. 最初と最後の頁 83-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金丸裕一	4. 巻 -
2. 論文標題 矢内原忠雄と『帝国主義下の台湾』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 赤松美和子・若松大佑編『台湾を知るための60章』明石書店	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金丸裕一	4. 巻 65巻6号
2. 論文標題 中国における賀川豊彦評価をめぐって 1920年から1949年の事例研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立命館経済学	6. 最初と最後の頁 189-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浅田進史	4. 巻 -
2. 論文標題 1920年代における中国市場調査 市場の再獲得を目指して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 田嶋信雄・工藤章編『ドイツと東アジア 1890 - 1945』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 451-486
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅田進史	4. 巻 9
2. 論文標題 The Siege of Qingdao: Mobilization and War Experiences in a German Leasehold in China during World War I	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 monde(s)	6. 最初と最後の頁 75-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保亨	4. 巻 4巻(経済・社会・学術)
2. 論文標題 二十世紀中国経済的国際環境 以第二次世界大戦後棉紡業の発展為例	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 中国社会科学院近代史研究所編『第三届近代中国与世界国际学术研讨会论文集』、社会科学文献出版社	6. 最初と最後の頁 1988-2010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤仁史 (宮原佳昭・宮内肇)	4. 巻 -
2. 論文標題 近代中国における風俗改良論 湖南・広東・江南の比較を通して	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『2015年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書』、公益財団法人JFE21世紀財団	6. 最初と最後の頁 179-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 -
2. 論文標題 The Recent History of the Fishing Households of the Nine Surnames: a Survey from the Counties of Jiande and Tonglu, Zhejiang Province	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 He Xi and David Faure eds., "The Fisher Folk of Late Imperial and Modern China: A Historical Anthropology of Boat-and-Shed Living", London: Routledge	6. 最初と最後の頁 173-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 10期
2. 論文標題 近代江南の漁民と信仰 以天主教為中心	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 近代中国基督教史研究集刊	6. 最初と最後の頁 107-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富澤芳亜 (桑原哲也)	4. 巻 38号
2. 論文標題 同興紡織上海商務課長の回顧 (上) 調虎雄氏 (同興紡織) インタビュー	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告 (10) - 2014年12月、江蘇省の農村	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 171-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告 (11) - 2015年5月、江蘇省の農村	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 221-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー（古泉達矢）	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 台湾における日系企業等への訪問記録 - 2015年3月	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 193-220
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金丸裕一	4. 巻 64巻4号
2. 論文標題 浅談近代東亞的領土概念	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 立命館経済学	6. 最初と最後の頁 88-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計58件（うち招待講演 24件 / うち国際学会 34件）

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 近代中国改革中之江浙教育界
3. 学会等名 2019年杭州文史論壇
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 「日本人は何故「空気」を読もうとするのかー近世期の日本社会と中国社会との比較から見えてくるものー」
3. 学会等名 華東師範大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 「日本人の同時代中国認識－宇治田直義を中心として」
3. 学会等名 南山大学アジア・太平洋研究センターワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「近代浙江教育的特点：兼与江蘇的比較分析」
3. 学会等名 浙江師範大学「浙学传承与当代價值」国際學術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「教育界とアメリカ型教育への傾斜」
3. 学会等名 公益財団法人東洋文庫シンポジウム「第一次世界大戦と中華民国」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「近代江蘇教育会的変遷」
3. 学会等名 第1回「江南文脈論壇」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshia TOMIZAWA
2. 発表標題 Labor Management Systems at the Kailuan and Zhongxing Coal Mines during the 1920s and 1930s
3. 学会等名 Massachusetts Institute of Technology Samberg Conference Center, " 100th World Economic History Congress" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 「近現代華北農村における経済発展と脱農化・都市化」
3. 学会等名 華中師範大学中国農村研究院講演会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 「近代中国農村の三層的経済構造」
3. 学会等名 華東師範大学社会発展学院講演会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 「21世紀初頭日本における中華民国期中国農村社会経済史に関する3つの捉え方」
3. 学会等名 華東師範大学社会発展学院「中日快速工業化時期的城郷関係と可持續発展」 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 「日本大学文理学部におけるビジュアル資料の収集について」
3. 学会等名 公開シンポジウム「日本大学文理学部におけるビジュアル・メディアの収集と活用－実例から見る修復、保存、管理、公開における課題と未来－」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「中日戦争時期，砂拉越華僑壽賑祖国難民運動中の祖国中国之表象化以及運動實際情況」
3. 学会等名 廈門華僑大学第四届「婆羅洲華人研究國際學術檢討会」（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「台湾海峡馬祖列島の近現代史与戦争－以中日戦争時期到冷戦時期為中心」
3. 学会等名 金門歴史民俗博物館「ピン南文化、島、博物館國際檢討会」（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田建一郎
2. 発表標題 「日中戦争期、華北の寒羊・寿陽羊と日本」
3. 学会等名 三田史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保亨
2. 発表標題 「日中戦争史研究の現状と日中関係」
3. 学会等名 オーストリア科学アカデミー、中国社会科学院近代史研究所『抗日戦争研究』編集部、ウィーン大学東アジア研究所共催「ヨーロッパと東アジアにおける第二次世界大戦の記憶」会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 「村落档案史料からみた集団化時期中国山西省の宗教政策」
3. 学会等名 第2回金沢大学環日本海研究センター連携部門国際テーマシンポジウム「近現代における環日本海域の農村社会環境の特質」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「明治大学与中国留日学生」
3. 学会等名 遼寧師範大学教育学院「東亜教育交流視野下的中日留学生史研究」国際論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「明治大学在近代中国留日学生中之位置」
3. 学会等名 南開大学歴史学院「第二屆 留学生与中外文化」国際學術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「大学生・学人の体験からみた中国現代史」
3. 学会等名 明治大学国際シンポジウム「江南の中の近現代中国」（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田幸男
2. 発表標題 「最近の中国近現代史研究をめぐる史料状況」
3. 学会等名 明治大学アジア史料研究所シンポジウム「王と書籍」（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 富澤芳亜
2. 発表標題 「近代中国の労働組織 - 鉱業における請負労働制度について・開ラン、中興炭鉱の事例 - 」
3. 学会等名 社会経済史学会第86回全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「近現代、馬祖列島の歴史・民俗的研究」
3. 学会等名 筑波大学人文社会学系国際workshop冷戦構造下、台湾海峡金門・馬祖島の歴史・民俗的研究（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「1940年代四川省的地方民意機関和秘密結社」
3. 学会等名 第一屆中国社会史論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「通過基督教傳教師文書解読20世紀初のピン西社会与革命運動」
3. 学会等名 厦門大学馬克思主義学院「馬克思主義在中国的傳播与实践學術検討会」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 「辛亥革命にみる軍人の忠誠と反逆」
3. 学会等名 第67回日本西洋史学会小シンポジウム「忠誠のゆくえ 近代移行期における軍事的エトスの比較史」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 「「文人」瞿秋白の革命ロシア体験」
3. 学会等名 史学会第115回大会シンポジウム「ロシア革命と20世紀」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田建一郎
2. 発表標題 「中日戦争時期日本对寒羊和寿陽羊の調査活動」
3. 学会等名 復旦大学歴史地理研究中心「近代中国北方經濟与社会転型學術研討会」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内山雅生
2. 発表標題 從戦前戦中期的調査資料看見本人的華北農村研究
3. 学会等名 華中師範大学農村研究学院（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保亨
2. 発表標題 金融地域結構的変動和日中關係
3. 学会等名 “埠際往来与互動視野下的上海金融業” 国際研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 芸能からみる近現代中国地域社会史 最近の宣卷調査を踏まえて
3. 学会等名 中国都市芸能研究会 - 2016年度春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 芸能・民間信仰からみる近現代江地域社会史 宣卷（宝巻）を事例に
3. 学会等名 「江南地域社会史研究の回顧と展望」ワークショップ
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 従民間芸能看江南農村和信仰
3. 学会等名 AoE Workshop on Local Society and its Religious Institutions (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 従記憶到歴史 以満洲遣送日人為例
3. 学会等名 香港海防博物館週末講座（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 村の権力と宗教
3. 学会等名 近現代中国農村社会の特質と変容
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀧下彩子
2. 発表標題 「支那」観光イメージの希求と発信
3. 学会等名 華北交通写真資料シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 富澤芳亜
2. 発表標題 占領地の鉱工業と華北交通
3. 学会等名 華北交通写真資料シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 富澤芳亜
2. 発表標題 中国の繊維産業
3. 学会等名 経済史シンポジウム「東アジア工業化に関する歴史的研究 中国と日本を中心に」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 有関近現代中国農村經濟發展的新型模式
3. 学会等名 華中師範大学農村研究学院（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 『満洲評論』にみる華南
3. 学会等名 戦前・戦中期における華中・華南調査と日本の中国認識
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 満洲事變之前在大連の日本人社會對蒙古的認識：以大連刊行的日語媒體為中心
3. 学会等名 中央研究院近代史研究所學術演講（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 在大連日本側メディアにおけるシベリア出兵認識：『満洲日日新聞』（1918年9月-1920年12月）掲載関係記事を事例として
3. 学会等名 2020年度ロシア史研究会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 今振り返る『引揚げ』の検証：満洲
3. 学会等名 国際善隣協会主催『引揚70周年記念の集い：満洲、樺太、朝鮮、台湾』（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 民国初年の対日ボイコットにおける東南アジア華僑と孫文
3. 学会等名 孫文生誕150周年記念国際学術シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 白鳥庫吉の東洋史学 史学史的考察として
3. 学会等名 第8回日中学者中国古代史論壇
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 武士道の近代命運：晚清中國の尚武理念與性別重構
3. 学会等名 第5届「漢化・胡化・洋化」：傳統社會的挑戰與回應國際學術研討會（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金丸裕一
2. 発表標題 日中戦争時期所談の中国 神職人員眼中的他者鏡像
3. 学会等名 復旦大学中間文明国際研究中心訪問学者工作坊第三十三期 近代東亜国際視闡下的基督教教育与文化認同工作坊（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金丸裕一
2. 発表標題 信仰与侵略
3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所2016年第19期學術論壇（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保亨
2. 発表標題 近代中国における機械工業の發展 19世紀半ばから20世紀半ばを中心に
3. 学会等名 科研費交付グローバル・ヒストリー研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 久保亨
2. 発表標題 1940-50年代的中国經濟与日中關係
3. 学会等名 「中日戦争衝擊下の亜洲」國際シンポジウム（國際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 久保亨
2. 発表標題 日本における中華民國史研究
3. 学会等名 第三回中華民國史高峰論壇（サミット・フォーラム）（國際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 民国時期日本在上海地区的宗教調査：以大谷派僧侶藤井草宣為例
3. 学会等名 第四届族群、歴史与地域社会研討会（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 民俗“復興”の時代性：宣卷与江南農村的民俗生活
3. 学会等名 “全球史視野下の江南文化与社会変遷”国際學術研討会（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 從林産看近代錢塘江流域社会：以建德和桐廬的口述調査為中心
3. 学会等名 2015年中国社会科学論壇：中国古代社会变化与思想變遷国際學術研討会（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 富澤芳亜
2. 発表標題 近代中国における紡織技術者養成について
3. 学会等名 2015年度広島史学研究会大会東洋史部会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 久保亨・富澤芳亜 (芦沢千絵・Koji ELISABESU・Wei ZHANG・Saoyang HONG)
2. 発表標題 Convergence and Divergence: The Role of Chinese “ Characteristics ” and Global Factors in the Development of China ’ s Economy in the Early 20th Century
3. 学会等名 XVIIIth World Economic History Congress (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松重充浩
2. 発表標題 日本外務省外交史料館所蔵『安東密輸問題』関係史料についての覚書
3. 学会等名 「 和解への道：日中戦争の再検討 」共同研究会第一年度大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉澤誠一郎
2. 発表標題 軍隊の動向からみた辛亥革命
3. 学会等名 国際シンポジウム「 革命と軍隊 明治維新・辛亥革命・フランス革命の比較からみえてくるもの 」 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 金丸裕一
2. 発表標題 戦時日本技術家視野下の中国電力産業
3. 学会等名 社会群体視野下の抗日戦争與中国社会国際学術研討会 (国際学会)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計14件

1. 著者名 久保亨、瀧下彩子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 400
3. 書名 戦前日本の華中・華南調査	

1. 著者名 久保亨	4. 発行年 2020年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 582
3. 書名 20世紀中国経済史論	

1. 著者名 金丸裕一、司徒、徐亦猛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 復旦大学出版社	5. 総ページ数 179
3. 書名 近代東亞國際視闡下的基督教教育與文化認同	

1. 著者名 久保亨、高田幸男、土田哲夫、井上久士、中村元哉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 304
3. 書名 現代中国の歴史――兩岸三地100年のあゆみ 第2版	

1. 著者名 弁納才一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 235
3. 書名 近代中国の食糧事情 食糧の生産・流通・消費と農村経済	

1. 著者名 塩澤珠江、松重充浩、小池聖一、白山真理	4. 発行年 2020年
2. 出版社 草思社	5. 総ページ数 157
3. 書名 吉田謙吉が撮った戦前の東アジア：1934年満洲 / 1939年南支・朝鮮南部	

1. 著者名 内山雅生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 御茶の水書房	5. 総ページ数 263
3. 書名 『中国農村社会の歴史的展開 - 社会変動と新たなる凝集力』	

1. 著者名 久保亨	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 244
3. 書名 『日本で生まれた中国国歌 義勇軍行進曲の時代』	

1. 著者名 高田幸男	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 356
3. 書名 『戦前期アジア留学生と明治大学』	

1. 著者名 波多野 澄雄、久保 亨、中村 元哉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 日中終戦と戦後アジアへの展望	

1. 著者名 田中 仁、金子 肇、水羽 信男、丸山 鋼二、吉田 豊子、瀧口 剛、松重 充浩、劉 宏、高橋 慶吉、柳 鏞泰、許 育銘、江 沛	4. 発行年 2017年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 230
3. 書名 21世紀の東アジアと歴史問題	

1. 著者名 久保亨・加島潤・木越義則共著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 204
3. 書名 統計でみる中国近現代経済史	

1. 著者名 中村元哉・大澤肇・久保亨編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 221
3. 書名 現代中国の起源をさぐる 史料ハンドブック	

1. 著者名 久保亨（水島司・加藤博・島田竜登）編	4. 発行年 2015年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 377
3. 書名 アジア経済史研究入門	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>東洋文庫研究成果リポジトリERNEST https://toyo-bunko.repo.nii.ac.jp/</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内山 雅生 (Uchiyama Masao) (30151905)	公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員 (72622)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	久保 亨 (Kubo Toru) (10143520)	公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員 (72622)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関